

フォトコンテスト(加西のまつり)の上位作品がカレンダーに

平成27年に行った「ふるさと加西(まつり)」のフォトコンテストの上位作品を、カレンダーとして制作しました。

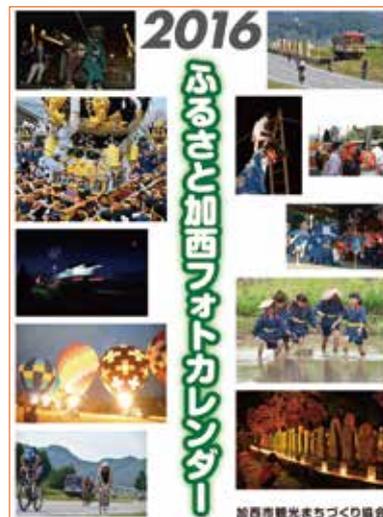
北条節句まつりや東光寺鬼会などの躍動感あふれる写真で、加西市のまつりがわかります。

■販売場所／観光案内所(北条町駅内)、観光まちづくり協会(文化・観光・スポーツ課内)、西村書店

■金額／500円(税込) ■部数／200部

フォトコンテスト「あなたが伝えたい景色」の写真を募集中

平成27年10月から28年1月に撮影した加西の伝えたい景色の写真を募集しています。募集期間は2月1日までです。



ふるさと加西フォトカレンダー表紙

ふるさと加西(まつり)フォトコンテストの入賞者

平成27年6月から11月までのふるさと加西のまつりを撮った写真展を、アステアかさいで行いました。

来場者の投票の結果、応募総数59点の中から、入賞者が決定しました。

最優秀賞／仙石一夫(明石市)

優秀賞／松本高年(姫路市)、フォーサイス啓予(神戸市)

佳作／辻昇三(両月町)



仙石一夫さんの作品「お田植え祭の女の子たち」

加西いちごのパッケージフィルムをリニューアル

北条高校生がデザイン

イチゴとトマトの生産者で構成する加西市施設そ菜園芸生産研究会と兵庫みらい農業協同組合、加西市は、北条高校と連携して「加西いちご」のパッケージフィルムをリニューアルしました。

北条高校文芸部・美術部にデザインを依頼し、それを基に改良を加え昨年10月に完成しました。「加西からあなたへ」という生産者の思いを込めたメッセージとともに、北条鉄道や五百羅漢をイメージするイラストを配しています。

1月6日(水)のかさい愛菜館初売り日にはいちご試食会が行われ、加西いちご(ハウス)の旬の時期を迎えます。



パッケージフィルムをデザインした北条高校生

スポーツ大会の結果

問合先／文化・観光・スポーツ課☎④8773

- 野球 ●市長旗／1位 北条ロビンス ●理事長旗／1位 大和 ●西日本1部／1位 北条ロビンス ●市長旗学童／1位 北条
- バレーボール東播社会人連盟6人制男女優勝大会(11/22、神鋼加古川体育館)／1位 キラーズ
- グラウンド・ゴルフすぱーく加西杯(11/23、多目的グラウンド)／1位 山本明子 2位 山端正義
- グラウンド・ゴルフ協会長杯(12/6、多目的グラウンド)／1位 上田富生 2位 岩本ひろみ

新年のあいさつ

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまの本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

市立加西病院は市内唯一の急性期病院にして総合病院として、市民の皆さまが住み慣れた土地で安心して生活を続けられるよう、医療を通して役立つことに今年も職員一同努力を傾ける所存です。

昨年の12月12日には加西市医師会などの協力を得て第2回の地域医療市民フォーラムが開催されました。過去に開催してきた加西病院市民フォーラムに比べ、より多くの市民の方々に参加いただきました。お礼申し上げます。

今回のフォーラムでは、まずレビー小体型認知症を若年で発症した妻の介護を、医師である夫の視点から描いた映画を鑑賞いただきました。

その後、パネルディスカッションで加西市の医療と介護の現状および将来を報告いただきました。市行政からは人口予測と地域包括ケアシステムの説明、病院からは地域医療制度改革と病院の今後の方針、診療所からは認知症診療の実際、介護支援専門員の立場からはケアマネージャーの役割などの内容が講演されました。

今後、加西市も高齢化が進んでいくのは明らかです。しかも単に高齢者の割合が多くなるばかりでなく、85才以上、100才以上といった超高齢者数の増加が急速化してゆく変化が起こります。病気と加齢の境界があいまいになり、病気が治癒するというよりも、病気や認知症を持ちながら社会・介護・医療に支えられて生きてゆ

くことが常態になります。そのことを可能にする隣人、サークル、通所介護、訪問介護、在宅医療、バックアップ機能の病院、行政などが有機的に連携し、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を送れる地域包括ケアシステムの構築が重要であることが発表者共通の認識でした。

さらには、昨年国が策定し、今年度県が推進する地域医療構想が目指す地域病院の機能の再編、すなわち急性期医療から回復期医療に転換させる取り組みが、加西市民の医療需給をどのように変化させるか、そして加西病院の役割がどのようなものであることが望ましいかが重要な議題になるものと想像しています。

このように地域医療を巡る変化は今年も奔流のように続くと思われます。加西病院を受診し入院する患者さんの年齢はどんどん高齢化していますが、その医療の現場に身を置いていると、加西病院が市民にとってどれほどかけがえのない存在であるか身につまされる思いです。

市民の皆さまには命の拠り所である加西病院を本年も温かく見守りいただけましたらこれ以上幸せなことはありません。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)



20歳になったら国民年金

問合先／市民課 ☎428722
加古川年金事務所 ☎079-427-4740

国民年金は、20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。高齢になったときやいざというときの生活を、現役世代みんなでお支えしようという仕組みです。

■国民年金のポイント

- ・将来の大きな支え／国が運営するため、安定しています。年金の給付は生涯にわたって保障されます。
- ・老後のためだけではありません／年をとったときの老齢年金のほか、病気や事故で障がいが残ったときの「障害年金」や加入者が死亡した場合に生計を維持されていた遺族が受け取ることできる「遺族年金」もあります。

■保険料の納付が困難な学生または若年者へ

- ・学生納付特例制度／学生の方で、所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予されます。対象は、学校教育法に規定する大学（大学院）や短期大学、高等学校、高等専門学校などの学生です。
- ・若年者納付猶予制度／学生でない30歳未満の方で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予されます。

